

Syllabus Id	Syl.-102489
Subject Id	Sub-102007130
更新履歴	100323
授業科目名	時事英語 Current English
担当教員名	塩谷三徳 (Shioya Mitsunori)
対象クラス	全学科5年生
単位数	2履修単位
必修／選択	選択
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義と演習
実施場所	共通棟3F MM教室 (緊急時:第1視聴覚教室)

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

英語が国際的な意思伝達に必須の言語媒体となっている現状をふまえ、本講義では、高校卒業程度の英語を土台にして、TVニュースや新聞・雑誌などの時事英語を題材とした視聴覚教材を用いて、「音読」と「リスニング」を中心とした活動をCALLシステムを使用して行う。黙って授業を聞いて理解するのではなく、読んだ内容、聞いた内容を積極的に口頭で発表する態度を身につける。また、英文理解に必要な英検2級レベルの語彙、文法・構文については、テキストを範囲とした定期的な小テストやWeb教材により習得する。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校卒業程度の英語の学力(英検2級程度)

学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
	E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成	
D:英語を使用した実践的なコミュニケーション能力を育成する。			

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. 時事英語を読み、内容を理解し、日本語で大意を書けるようになる。
2. TVニュースなどの時事英語を聞き、簡潔にメモを取り、内容の把握ができるようになる。
3. 時事英語を含む英文を音読したり、時事問題について自分の意見を英語で発表できるようになる。
4. 音声矯正ソフトを用いることにより、英文を流暢に読めるようになる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	Unitの予習	辞書を使用し、テキストの予習を課題プリントを使用してすすめる。	
第2回	Unit 1	問題演習を通しての機器使用の実習、授業の進め方の説明。Unit 1	
第3回	Unit 1	Obama Inauguration Speech	
第4回	Unit 2	Californian Ecology	
第5回	Unit 2	Californian Ecology	
第6回	Unit 3	Dr Heart	
第7回	Unit 3	Dr Heart	
第8回	前期中間試験		×
第9回	Unit 4	Golden Sewage	
第10回	Unit 4	Golden Sewage	
第11回	Unit 5	Tokyo Fish Market	
第12回	Unit 5	Tokyo Fish Market	
第13回	Unit 6	Treeless Wonder	
第14回	Unit 6	Treeless Wonder	
第15回	前期期末試験		×

第16回	後期オリエンテーション		
第17回	Unit 7	British Pound Takes a Pounding	
第18回	Unit 7	British Pound Takes a Pounding	
第19回	Unit 8	East African Piracy	
第20回	Unit 8	East African Piracy	
第21回	Unit 9	Perfect Female Robot Aiko	
第22回	Unit 9	Perfect Female Robot Aiko	
第23回	後期中間試験	授業中に実施	×
第24回	Unit 10	Oxford Exam	
第25回	Unit 10	Oxford Exam	
第26回	Unit 11	Best Job in the World	
第27回	Unit 11	Best Job in the World	
第28回	Unit 12	Going, Going...Gone	
第29回	Unit 12	Going, Going...Gone	
第30回	後期末試験		×

課題

課題として各Unitの予習または英語ニュース原稿を出題する。

提出期限: 課題出題時に期日を指定

提出場所: MM教室

オフィスアワー: 授業実施日の12:30~13:00

評価方法と基準

評価方法:

定期テストは教科書および教科書と同程度の英語ニュースからの出題とする。それとは別に、単語や文法、音読、聴解および読解を中心とした小テストを各回の授業時に実施する。小テストの点数は定期試験と同等に評価に加える。自主的な授業中の挙手による発言や事前の予習を奨励し、評価の一部とする。

評価基準:

定期試験および随時実施する小テスト等の成績による評価・・・75~80%

積極的参加態度、提出物の内容による評価・・・15~20%

学習到達度自己評価・・・若干

教科書等	『CNN:ビデオで見る世界のニュース(11)』関西大学英语教育研究会(朝日出版社) 2,100円 『即戦ゼミ3 英語頻出問題総演習』(桐原書店) 1,344円【2年時購入済み】
先修科目	総合英語A、総合英語B、英語W、英語C
関連サイトのURL	ALC NetAcademy2 https://nct-na.numazu-ct.ac.jp/onet2/
授業アンケートへの対応	視聴覚機器を適切に活用することができるように心掛ける。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。